

れんけい

香川県立中央病院
Kagawa prefectural central hospital

題字：松尾信彦書



病院祭を開催しました！

総務課 松永 圭太

10月18日（土）に第13回病院祭を開催しました。

病院祭は、本県の中核病院としての当院の役割や医療機能等について、広く県民の皆様にご理解いただくとともに、県民の皆様、地域の医療機関の方々とのより一層の連携強化を図ることを目的に開催しております。当日は天候にも恵まれ、多数の方にご来場いただきました。

毎回人気の白衣体験、薬剤師体験などのキッズコーナー、骨密度測定や肝炎ウイルス検査などの健康チェックコーナー、DMATやフライトドクターの服を展示した防災コーナー、ヘリポートやダヴィンチなど最新の医療機器などを巡る院内ツアーのほか、屋外には大人気のキッチンカーの出店やクラウドファンディングにより皆様のご支援で購入できたドクターカーと香川県警察のパトカー、白バイを展示し、実際に見たり、乗ったりして楽しんでいただきました。

香川県赤十字血液センター、かがわマラソンなどの関係機関・団体の皆様にもご協力いただくとともに、当院で活動いただいているボランティアの方には、水彩画教室や本格的なお抹茶が楽しめるお茶席、食堂では焼き立てパンや病院祭特別メニューをご準備いただくなどご協力をいただきました。

その他、ステージイベントでは小さなお子様に人気のあるバルーンアーティストによるバルーンパフォーマンスのほか、フラダンス、太極拳、ハーブ・フルート演奏、高松市主催デリバリーアーツ瀬戸フィル音楽会、当院医師による公開講座が行われました。また、香川県ゲートキーパー推進キャラクターの「きーもん」と献血推進キャラクター「けんけつちゃん」が応援に駆け付けてくれ、ご出店、ご出演いただいた皆様とともに病院祭を大変盛り上げていただきました。

当院として、感染に注意しながら、ご来場いただいた皆様が楽しんでいただける各種イベントを職員一同、心を込めて準備を行いましたので、来場者の皆様が楽しめた一日になっていれば幸いです。

当院では、このようなイベントを通して、県民の皆様、地域の医療機関の方々との交流・連携を大切にし、皆様から愛され、信頼される病院となるよう職員一同取り組むとともに、今後も患者さんやご家族の方にも安らいでいただけるような場を引き続き提供できるよう努めてまいります。

まぶたのお悩み、解決します！

形成外科 医師 木下 雅人

当院の形成外科では、まぶたの手術を専門的に行っております。
以下にお示しする手術は、すべて通常の保険診療で可能です。

■眼瞼下垂症

主に先天性と後天性に分かれます。先天性の場合は、瞼を挙げる筋肉の力に障害があることが多く、前頭筋を力源にする必要がありますので、大腿筋膜を前頭筋と瞼の間に移植する手術を第一選択としております。後天性の場合は、皮膚余剰のみの場合は皮膚切除を、瞼を挙げる筋肉の緩みの場合はそれを引き締める手術を、先天性のように筋力に障害がある場合は筋膜移植を行っております。おでこに皺が寄っている方は、眉毛挙上で開瞼を代償している可能性があり、潜在的な眼瞼下垂の可能性がございます。ごく軽度の症状でも手術により改善できる可能性がございますので、ぜひ一度ご紹介ください(図1)(図2)。



【図1】眼瞼下垂手術前

■眼瞼・睫毛内反症

主に下眼瞼に生じ、こちらも先天性と後天性にわかれます。睫毛が眼球に接触し、角膜障害を起こすため治療が必要です。瞼の奥にある下眼瞼牽引筋腱膜(LER)という膜が、先天性の場合は過緊張に、後天性の場合は緩んでいることが原因ですので、前者は切断を、後者は短縮を行うことで改善を得ることが可能です。特に先天性眼瞼内反症の原因が LER の過緊張であることは近年判明してきており、この操作を加えることで劇的に再発が減少した印象です。なお、蒙古(もうこ)皺(ひだ)や横方向の眼瞼弛緩が影響している場合は、そこに対しても同時に操作を加えます。

また、睫毛乱生といって少数の睫毛のみが内反している場合は、電気凝固で脱毛することで症状の改善を得ることが可能です。



【図2】眼瞼下垂手術後

■眼瞼外反症

東洋人では顔面神経麻痺による下眼瞼外反症が多く、たるんでしまった下眼瞼を外側に引っ張って引き締める手術を行っております。前頭筋の運動障害による眉毛下垂を原因とした眼瞼下垂を合併していることが多いので、眉毛を挙上して前頭部の骨膜に固定する手術も同時に行うことが多いです。

■涙道損傷

瞼の内側から鼻に向けて、非常に細い管が存在しており、涙道と呼ばれております。形成外科は眼瞼の外傷も得意としておりますが、当科ではマイクロサージャリーも専門としておりますので、下涙小管の再建も行っております。

■良性・悪性腫瘍

当科では皮膚・皮下腫瘍の切除・摘出も行っておりますが、眼瞼に存在する場合ももちろん対応可能です。眼球まで浸潤している場合は対応困難なこともございますが、まずは一度ご紹介ください。

などなど、瞼のことでお困りの患者さんがおられましたら、
ぜひ一度ご紹介いただけましたら幸いです。



余喘を保っている「小児科」

小児科 部長 岡本 吉生

「ほかの病院では診られないのですか？」かつて、外来部門を統括する医師から向けられた発言である。私は小児科医として、『こどもの心臓超音波検査』などを駆使して診療をしている。細かな文脈はここでは置いておくが、上記の発言は、実はかなり真を突いている。その答えは「診られると思います」である。

川崎病という有名な疾患を通して、小児科診療を紹介してみる。1967年に川崎富作医師が発見したこの疾患は冠動脈瘤や心筋梗塞の合併報告が発見の契機である。全身性血管炎とされ、発熱、両側眼球結膜充血、口唇発赤、発疹（BCG痕の発赤は特異的）（図1）、手足のむくみ、頸部リンパ節腫脹を特徴とする。問題となるのは冠動脈瘤形成で命にかかわる合併症である。様々な疾患がある中で、冠動脈瘤形成を来す疾患は稀である。しかし、川崎病自体は決して稀な疾患ではなく、年間15,000人のこどもが新たに罹患する。1年を通して常に川崎病の児は入院しているし、外来で川崎病既往の児を見かけないことはない。もちろん、川崎病を発症した全員が冠動脈瘤形成を来すわけではない。治療すれば1%以下だが、無治療では20～30%程度に出現する。治療はγグロブリン大量投与（+アスピリン内服）で、時に免疫抑制剤も併用する。



【図1】 BCG痕発赤

冠動脈瘤形成の怖さは、一旦瘤形成してしまうと基本的には正常な冠動脈へ戻れないことにある。心筋梗塞、瘤破裂などを呈する「時限爆弾」を背負って一生を過ごさないといけない。しかも、瘤形成してしまうと我々には実質的になす術がない。よって、治療目標は冠動脈瘤形成を生じさせないことに尽きる。そして、冠動脈の評価は治療前・中・後すべての期間で肝となる。

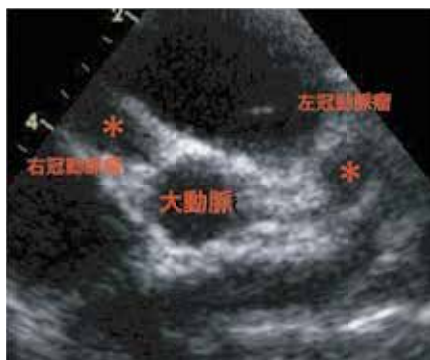
冠動脈の評価には心臓超音波検査（図2）が必須で、入院中だけでも数回、退院後も外来で繰り返し検査する（繰り返し評価が難しい造影CT検査は限定的（図3）。心臓超音波検査は、僅かな経験があれば誰でも評価できる検査であるが、さらに特筆すべき点がある。ハイエンドな機器を全く必要としない（＝廉価版の機器で対応可能）点と、検査時間が概ね数分と短い点である。

人命も関わる大事な公共事業でさえ、コストは無視できない。昨今の医療もコスト（人的も含めて）を考えるべきだという意見は正しい。

実は、毎年1,000件以上の『こどもの心臓超音波検査』を真の意味で自分の手で行っている。この検査は、意外かもしれないが、人的コストも含めてハイパフォーマンスなのである。超高価なハイエンド機器や検査技師の時間と労力を必要とする検査とは対極にある。

さて話を最初に戻すと、「どこの病院でも診られる」と「どこの病院でも診てくれる」は同義ではない。我々、県立病院の使命の1つは、「香川の子どもたちのために尽くす」である。こどもは未来の大人である。そこに注力することは決して無駄にはならないのではないか。

当院名誉院長の浜本英次先生
の言葉を最後に挙げて終わりたい。
「実験データの積み重ねは学問で
はなく、人類が欲するものである
かどうかの動機と目標が重要
であり、全人間的な治療を行う
というソーシャルニードに応じら
れる哲学的・宗教的医師になる
ことが重要である」ソーシャルニ
ードは子どもに向いているはずで
ある。ちなみに浜本先生は小児
科医で、我々の師である。



【図2】 心臓超音波検査



【図3】 造影CT検査

ゲノム医療最前線 6

HBOC 診療と乳癌

乳腺・内分泌外科 診療科長 小笠原 豊

乳癌のうち5～10%は、主に遺伝が原因で発症するといわれています。そのうち最も多いのが、BRCA1もしくはBRCA2という遺伝子に変異をもつ遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）です。HBOCは乳癌のみならず、卵巣癌、前立腺癌、膵癌などの発症リスクも一般頻度より高くなることが知られており、積極的な医療介入が必要であるといわれています。

HBOCに対する診療のうち、いくつかの検査や手術などが2020年4月より保険診療となりました。HBOCである可能性が高い場合（45歳以下の場合、家族歴がある場合など、条件に当てはまる方が対象。図1）は、保険診療でBRCA遺伝学的検査が実施できます。

当科では、初診時にBRCA遺伝学的検査の保険適応の有無を確認し、保険適応がある方には、検査に関する情報提供を初診時にを行っています。陽性であった場合には、乳癌手術の術式が部分切除から全摘術に変更になる場合や、希望される患者さんには、乳癌手術と同時に対側のリスク低減手術も保険診療で実施可能なため、なるべく早い時点で検査に対する情報提供をしています。なお、全摘術に際しては、乳房再建手術も保険診療で選択できます。検査の結果が出るまでに3週間程度を要するため、スムーズに診療を進めるには初診時からHBOCのことを念頭に置き、乳癌診療を行う必要があります（図2）。

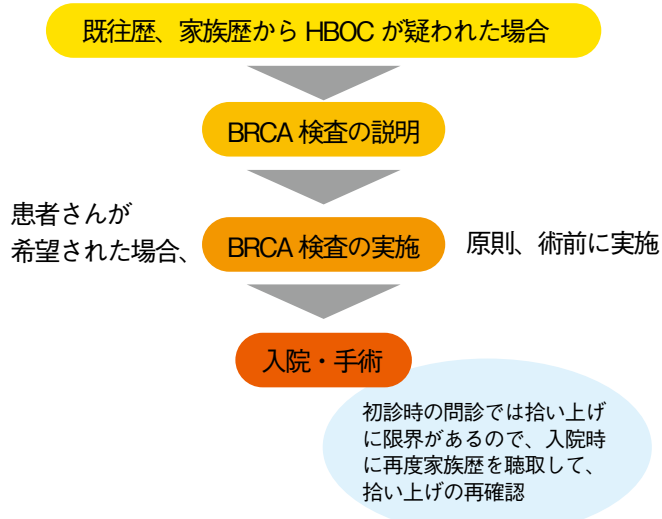
BRCA遺伝学的検査が保険適応となる乳癌患者の割合や陽性率に関してですが、当院の乳癌初診患者さん316名中147名（47%）でBRCA遺伝学的検査の保険適応があり、そのうち検査を希望された86名中9名（10%）でBRCAが陽性でした（2023年日本乳癌学会総会、図3、図4）。

加えて、乳癌治療薬のコンパニオン診断としてのBRCA遺伝学的検査が必要となるケースもあるため、当科での検査実施数は年々増加しています（図5）。検査機会の増加に伴い、HBOCと診断される患者数は今後増加することが予想されます。

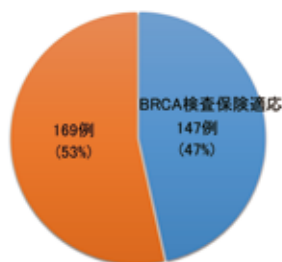
HBOCと診断された場合、これらの遺伝子の変化はご自身に留まらず、ご家族にも引き継がれる可能性があるため、ご家族のフォローも求められます。HBOC診療に対しては、複数の診療科が連携し、分野横断的に診療を行う必要があります。当院におきましては、遺伝子診療科が中心となり、乳腺外科、婦人科、消化器内科、泌尿器科などが連携を取りながら診療にあたっています。

- 45歳以下で乳癌と診断された
- 60歳以下でトリプルネガティブ乳癌と診断された
- 両側の乳癌と診断された
- 片方の乳房に複数回、原発性乳癌を診断された
- 第3度近親者内に乳癌または卵巣癌または膵癌発症者が1名以上いる
- 乳癌と診断された男性
- PARP阻害薬に対するコンパニオン診断の適格基準を満たす場合

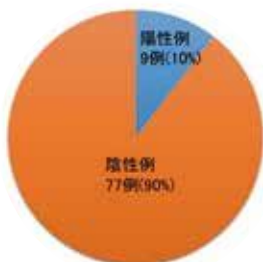
【図1】 BRCA 検査が保険適用となる乳癌患者



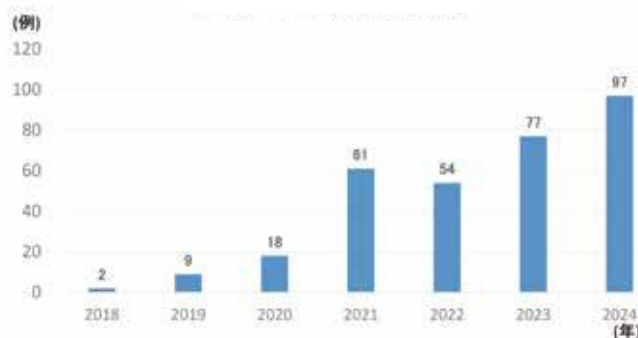
【図2】 乳癌診療と HBOC 診療



【図3】 BRCA 検査が保険適応となる乳癌手術患者の割合



【図4】 BRCA 検査陽性率



【図5】 BRCA 検査の実施数

認定・専門看護師コラム

その14

「がん治療も大切に。自分の楽しみも大切に。」

がん化学療法看護認定看護師
松本 雅美

がんは一生のうち3人に1人がかかると言われ、大変身近な病気となっています。がん化学療法看護認定看護師は、①薬物やレジメン（治療スケジュール）の特性と管理に関する知識を活用し、病院内で安全かつ適性に治療を提供すること、②他職種と共働して患者さんやご家族が治療に向き合うためのセルフケア能力を高める関わりを行っています。

がん化学療法は効果を期待して行いますが、副作用が避けられないこともあります。また、稀にアレルギーなど緊急で対応が必要な場面もあり、安全に治療を提供することを最優先に関わっています。最近免疫チェックポイント阻害薬が使用できる疾患が増え、副作用も多様化しています。気がかりなことは医師や薬剤師、看護師にご相談ください。また、日常生活と折り合いをつけることも大切です。がん治療を受けながら、自分の楽しみも大切にできるように、どのような工夫ができるか一緒に考え、お手伝いをしたいと思っています。現在は一部レジメンを除き、通院して治療を受けることができ、自宅で生活しながら仕事や趣味、子育て、介護など自分がやりたい事をされている方も多くおられます。医師やがん薬物療法認定薬剤師、管理栄養士、患者サポートセンター、緩和ケアセンターなどと共働して、がん治療期の患者さんやご家族を支えています。

リハビリテーションのおハナシ
『早期離床のすすめ』

その7

リハビリテーション部 理学療法士
野崎 ひさ

リハビリテーション部では、主治医の依頼を受けてリハビリ医が診察を行い、リハビリが始まります。病状によって例外はありますが、皆さんに共通する大切なステップが「ベッドから離れる（離床）練習」です。

寝たきりになると、誤嚥性肺炎、深部静脈血栓症、褥瘡（床ずれ）、筋力低下などのリスクが高まります。離床すると呼吸機能や血流の改善につながり、筋肉を使うことで、これらの予防につながります。また、「起き上がった」「立ち上がった」という体験が自信につながり、治療への意欲も高まります。さらに、生活リズムが整い、認知症・せん妄の予防にも効果があります。

患者さんの中には、麻痺があり自力で座る姿勢を保つのが難しい方がいます。そのような場合は、リクライニング式の車いすを使ったり、クッションで支えたりして、楽に座れる工夫をしています。

離床と同時に、立つ・歩く練習も始めます。手すりや装具を使い、不足している機能を補うことで、安全に動けるようサポートしています。

最後に、入院される皆さんへのお願いです。入院時には、踵のある靴をご持参下さい。リハビリだけでなく、病院での生活全般に必要となりますので、ご協力をお願いいたします。

リクライニング式
車椅子

中央検査部だより

その3

中央検査部 杉山 千恵

病理検査室のお仕事～がんゲノム検査検体の取り扱い～

当院中央検査部の病理検査室では、悪性腫瘍の組織を用いてがんゲノム検査に使用する検体を作製しています。がんゲノム検査を高い精度で行うためには、検体の品質管理が極めて重要となります。そこで今回は、病理検査室におけるがんゲノム検査への対応方法を紹介します。

がんゲノム検査を行う場合、組織をホルマリンで固定（検体が採取された状態を保つために必要な操作）し、ろうで固めた検体を作製し、薄切（検体を薄く切る操作）を行います。この過程で検体の品質に差が生じやすくなります。

特に気をつけていることは、固定時間です。推奨される固定時間は6～48時間以内です。固定時間が長くなると、核酸が断片化するなど品質が悪くなってしまいます。これを防ぐために、休日に出勤している技師が固定液から検体を取り出すなど、推奨時間以内に固定を終了するよう工夫しています。

また、薄切時に他の検体とのコンタミネーションが起きると検査ができないため、薄切は業務の開始時に行い、患者さんごとに新しい刃を用いています。

今後も、より高い精度のがんゲノム検査が行えるよう、検体の取り扱いに細心の注意を払い、業務を行うよう心がけていきます。



コラム おつうじにまつわるうんちく話

その31

消化器内科 部長

田中 盛富

ずいぶん前の記憶ですが、テレビである漫画家のような方がユーモアを交えつつ自動車のイラストを描きながら、「（時代の変化とともに）文明は見えていたものを隠すようになり、文化は隠れていたものを見えるようにする」と、車のデザインを例に文明と文化の違いについて語っておられました。多少無理はあるものの、その説明に「なるほど」と思いました。一般に、文明は物質や道具などのハード面、文化は精神や慣習などのソフト面を指していることが多いのですが、文明はグローバル、文化はローカルという見方もあるようです。

さて、トイレ文明と日本文化を考えたとき、それぞれが発展し到達した交点、それは高機能トイレでしょう。機種にもよりますが、温水洗浄機能だけでなく、自動でふたが開閉したり、立ち上がると水が流れたり、除菌や脱臭といった機能が備わっています。温水洗浄便座自体は、もともとはアメリカで医療や福祉の用途を目的にその原型が開発され、その後、日本の技術や創意工夫によって機能が追加され、現在の高機能トイレになったそうです。日本では広く普及していますが、海外では諸事情により普及はしていません。温水洗浄便座はおしりを快適に保つことができるため便利で、痔疾患などの方にも有用ですが、過剰な使用は問題です。強く洗浄したり、浣腸代わりに使用し続けると肛門周囲の粘膜や皮膚のトラブル、排便障害を引き起こすことがあり、注意が必要です。これらは温水洗浄便座症候群として知られていますが、日本に特有の問題かもしれません。

文明の発達により、おしりを機械で洗浄してもらい、自動で排泄物を流してもらう時代に生きる私たちですが、それは排泄物が隠される時代でもあります。ということは、冒頭の言葉が正しければ、これからの文化はその隠されたものを逆に強調するようになるのでしょうか。ただ、昔のことで肝心の「文明」と「文化」は逆だったかもしれません。その場合でも、それなりにこじつけることはできそうですが、おしりの洗いすぎには気をつけましょう。

医師の人事異動

転入

(10月1日付)

①出身大学②卒業年③趣味④抱負

転出

(9月30日付)

しかたに よしのぶ

鹿谷 芳伸 (呼吸器外科)

なかの てるよし

中野 輝樫 (泌尿器科)



そがべ だいすけ
曾我部 大輔
(循環器内科)

- ①岡山大学
- ②令和5年
- ③バレーボール、アコースティックギター、超ときめき♡宣伝部
- ④患者さんに信頼されるような診療を心がけます。



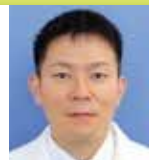
しおたに としお
塩谷 俊雄
(呼吸器外科)

- ①岡山大学
- ②平成23年
- ③動画鑑賞
- ④地域の皆様に安心・安全な医療を提供する事をモットーに、日々診療を行います。



さかきばら ゆたか
榊原 裕
(心臓血管外科)

- ①広島大学
- ②平成3年
- ③ゴルフ、グルメ探検
- ④少しでも病院のために、お役に立てるようがんばってまいりますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。



やました ゆうま
山下 雄真
(心臓血管外科)

- ①高知大学
- ②令和5年
- ③野球
- ④精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。



かまだ さとこ
鎌田 聡子
(泌尿器科)

- ①ハンガリー国立セゲド大学
- ②平成27年
- ③読書、散歩
- ④子育てと両立しながら、患者さん第一で全力で診療に取り組みます。



広報誌「れんけい」
バックナンバーが
ご覧いただけます。

発行者 香川県立中央病院 高口 浩一
編集 広報委員会

〒760-8557 高松市朝日町一丁目2番1号
TEL (087)811-3333 FAX (087)802-1160